

事務事業名	水処理センター施設維持管理事業		担当	上下水道部 下水道課 水処理係	
政策名	5	「環境づくり」～安全なまちアップ！～	施策名	2	下水道事業の推進
成果指標	名称		単位	6 年度実績	
	放流水の水質（BODの平均値） 基準値 15mg/L		mg/L	真岡6.4mg/L 二宮4.5mg/L	
	放流水の水質（SSの平均値） 基準値 40mg/L		mg/L	真岡3.1mg/L 二宮3.5mg/L	
事業概要	水処理センターは、快適な市民生活環境の確保と、河川等の水質保全を目的として計画された施設で、市民の生活排水等を浄化している。 真岡市水処理センターは、昭和58年3月から供用を開始し、標準活性汚泥法により処理水を五行川に放流している。 二宮水処理センターは、平成7年3月から供用を開始し、オキシデーションディッチ法により処理水を西川に放流している。 また、両施設とも老朽化が進んでいるため、中長期的な施設の状態を予測しながら、計画的かつ効率的に管理する「ストックマネジメント計画」に基づき、点検・調査・改築・修繕等を実施している。				
6 年度 実績・成果・課題	・実績：下水道ストックマネジメント計画（第1期）に基づき、設備の修繕・更新等を行った。また、下水道ストックマネジメント計画（第2期）を策定するとともに、真岡市水処理センターの耐震診断（対象施設の耐震化対策に係る劣化調査）を実施した。 ・成果：処理場施設・設備の計画的な修繕・更新など適切な維持管理に努め、放流水質は基準を大きく下回っている。 ・課題：計画的に設備の修繕・更新等を行うため、社会資本整備総合交付金等による事業費の確保が必要となる。				
今後の方向性と 具体策	☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 目的絞込み ☐ 目的拡充 ☐ 事業統合 ☐ 事業のやり方改善 ☐ 予算削減 ☐ 予算増大 ☒ 現状維持（従来通りで特に改革改善をしない） 【具体的な改善案】 施設の老朽化が進んでいるため、適切な時期に修繕・更新等を行っていく。下水道事業の財政状況を鑑み、その中でも更に優先性を考慮していく。また、ストックマネジメント計画の対象となるものについては、適宜、計画の見直しを行い、社会資本整備総合交付金を積極的に活用し、対応していく。				